

ひまぶ 火守りトピックス

No.170 令和2年7月10日(金)掲載

救助訓練成果披露

令和2年6月25日(木)、消防本部で救助訓練消防長査閲が行われました。

今年度の消防救助技術岩手県大会は、新型コロナウイルス流行の影響により中止となりました。さらには緊急事態宣言の発令により、救助訓練も中断となりましたが、5月14日(木)の緊急事態宣言解除に伴い約1ヵ月半、訓練に励みました。

当日は、それぞれの隊員が日頃の訓練の成果を披露しました。

訓練披露後、三松消防長から「住民の安全を脅かす災害は後を絶たず、住民の消防に対する期待は益々高まっている。隊員には、消防救助技術の錬磨・向上に努められ、その負託に応えられるよう更に結束していくことを願います。」との言葉がありました。

隊員は来年度の県大会に向け決意を新たにしていました。

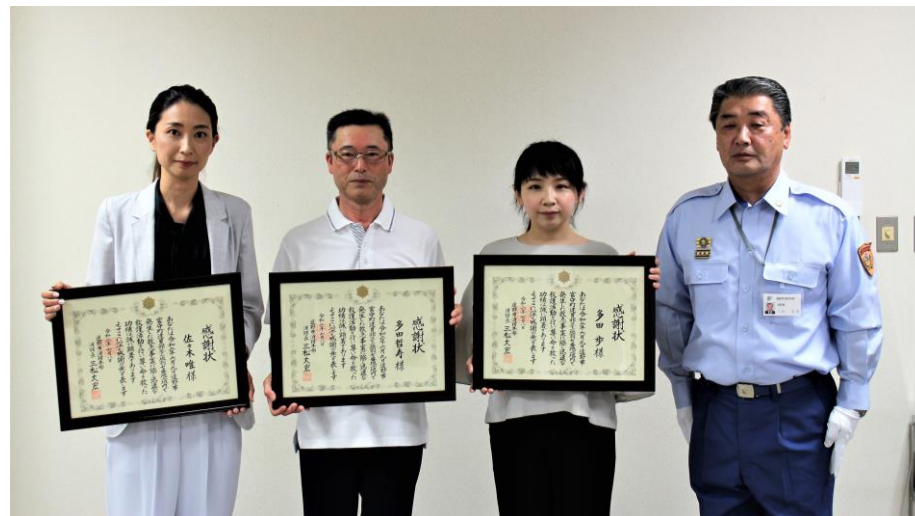


令和2年度全国統一防火標語

『その火事を 防ぐあなたに 金メダル』



迅速な対応に感謝状贈呈



左から佐々木唯さん、多田哲寿さん、多田歩さん、三松消防長

令和2年7月8日(水)、熱中症で倒れていた高齢女性を救助した3名に感謝状を贈呈しました。

多田哲寿さんは6月9日(火)午後、訪問先の宮守町内の民家玄関前で倒れている女性を発見。隣接する事業所で働く佐々木唯さん、事業所を訪れていた多田歩さんに協力を求め、119番通報後、救急隊が到着するまで応急手当を継続的に行い、女性1名の救命に大きく貢献されました。